

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

総合窓口を

設置

2月15日 協議会開催

利用者に、もれなくやさしい「ワンストップサービス窓口」の設置。

Q ワンストップとは。

A 担当職員が連携することで利用者の窓口移動をなくす。

Q フロアーマネージャーの内容は。

A 職員がら人体制で、きめ細かいサービスの提供。

防犯活動の計画

各地区で防犯パトロールや青色回転灯車巡回など、防犯意識が高まっている。

Q 犯罪発生状況は。

A 刑法犯や窃盗犯の件数は減少している。

Q 地域パトロール隊の現状と活動に補助金を。

A 12団体600人、青パト車26台。設立時に補助はするが、あくまでもボランティア活動としてお願いしている。



コノハけいぶ（県警のマスコット）

新たに 太陽熱システムに補助

産業建設

2月14日 協議会開催

地球温暖化防止の一環として、住宅用太陽光発電システムを対象にした補助制度を平成17年度に創設。

平成24年度から、燃料電池システムも補助対象に追加した。

平成25年度から、新たに太陽熱システムを追加する。

Q 制度の充実の内容は。

A 住民の多くが利用できるように、補助単価の見直しや新しく太陽熱システムを補助対象に加える。

災害廃棄物の処理協定

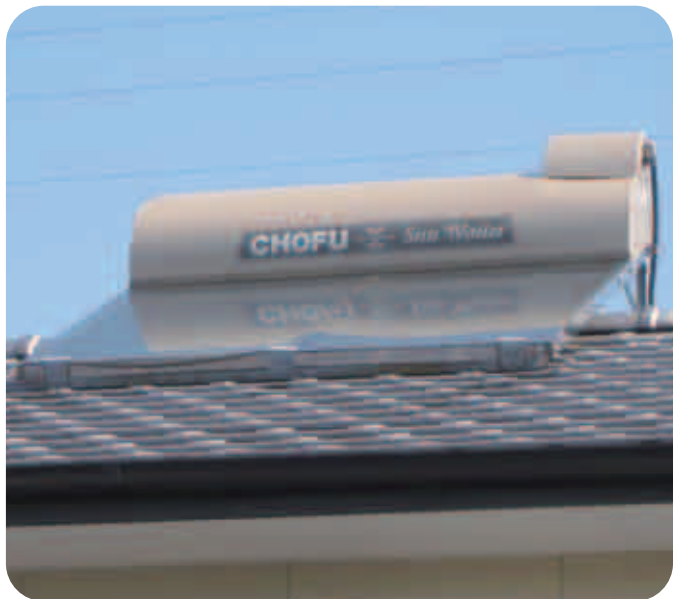
大規模災害が発生した際に、町内で生じたがれきや生活ごみの撤去、収集、運搬分別および処理に関する協定を、愛知県産業廃棄物協会と結ぶ。

Q どのような団体か。

A 県下の産業廃棄物処理許可業者で構成する一般社団法人。

Q 大規模災害で、本町だけでなく広範囲に被害が及んだらどうか。

A 被害範囲などの状況により、県外処理もある。



太陽熱温水器（菱池地内）

深溝松平家 御廟所の国指定

文教福祉



深溝松平家墓所の視察

2月7日 協議会開催

深溝松平家御廟所は、7月に具申、10月答申、そして1月の告示で、いよいよ国指定史跡となることが濃厚となった。

Q 県ではなく国指定に格上げしたねらいは。

A 国からの強い打診があった。

Q 松平家との確認内容は、出土した宝物は松平家の所有物となる。

A 宝物の見学はできるが、町としてレプリカを用意する。

Q 指定までの諸費は、町が負担する。

Q 新電力導入で経費削減

4月1日から16施設で電力料金削減を目的に新電力から電気を調達する。施設ごとに基本料金は異なるが、中央公民館では80円、坂崎運動場で400円ほど削減される。

Q 入札の状況は。

A 5業者の競争見積りにより、(株)F・POWERとなった。

防災対策

備蓄倉庫の扉

いつ誰が開ける

2月6日 協議会開催

町地域防災計画修正、活断層を知る会・講演会、町総合防災訓練を協議。

Q 災害時支援拠点に、とぼねグラウンドがあるが、不動ヶ池は大丈夫か。

A 利用の場合、池の安全確認をする。

Q 避難所の備蓄倉庫の扉は、いつ、誰が開ける。

A 町全域被災が対象で、町が開ける。

Q 9月5日、総合防災訓練実施だが、自主防災会教育委員会の位置づけが低い。

A 計画に明記したい。

特別委員会レポート



幸田駅前銀座のイベント

総合開発

駅前銀座全店オープンに向けて

2月5日 協議会開催

幸田駅前土地区画整理事業の概要を協議。

Q 当初予算52億円が、43億円に圧縮した理由は。

A 平成17年時点で補償費を概算で算定していた。見直して2割下がった。平成30年に完成予定。

Q 駅前銀座の空き店舗の状況は。

A 6店舗入店に向けて努力。開発地区内の町有地の活用は。

A 駅前の活性化の一翼を担ってくれる企業に売却する。

一般質問 追跡

あの答弁は
どうなったの



バナー広告

その後 afterward ← **an** A ver ← **qu** on

「儲ける」新たな歳入の検討を
行財政改革の推進が求められている。「儲ける」新たな検討状況は。

ホームページや封筒の Sponsor 探しなど努力。

平成24年4月からホームページに、企業のバナー広告の掲載を開始し、現在4社と契約済み。

平成21年3月定例会
酒向 弘康議員

平成22年6月定例会
水野千代子議員

平成23年6月定例会
志賀 恒男議員

その後 afterward ← **an** A ver ← **qu** on

「いづも課」の新設を
スムーズな対応を求め、子ども関係は一つの窓口で対応する「いづも課」の新設を。

組織改革の中で検討中。

平成24年4月の組織改革で、幼保一体化を見据え、児童課をいづも課に変更。

義務教育前の手続きを一括して取り扱う。

なお、平成25年度から住民いづも部が新設される。



子ども課窓口

平成22年12月定例会
水野千代子議員

平成23年6月定例会
中根 久治議員

視察来町 10市町・88人



H24. 4. 19	滋賀県彦根市	10人
H24. 4. 26	三重県いなべ市	7人
H24. 7. 23	熊本県玉名市	9人
H24. 8. 1	鹿児島県始良市	9人
H24. 8. 7	福岡県遠賀町	7人
H24. 10. 23	長野県軽井沢町	7人
H24. 11. 7	山梨県町村議会議長会	17人
H24. 11. 14	大分県国東市	10人
H25. 1. 18	静岡県長泉町	8人
H25. 2. 13	長野県伊那市	4人

こうた 議会だより

平成24年4月発行の「議会だより144号」が第27回町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞しました。4年連続で8回目の入賞となりました。

今後もしっかりやすく、住民参加の広報づくりに努力していきます。

全国コンクール 奨励賞



議員研修会

議会改革は住民の福祉の増進

平成25年1月22日、幸田町議会は、「議会改革の現状とポイント」をテーマに財団法人地域開発研究所牧瀬稔氏を講師に、議員研修会を開催しました。



熱の入った研修会

- ① 議会改革とは何か
 - ② こんな議会改革はある？
 - ③ 議会基本条例とは何か
 - ④ ユニーク条例の紹介
- の4項目を中心にした講義を受けました。
- 地方自治法に規定された議会の役割として、執行機関の監視機能と、政策を立案する2つの機能が求められているが、ほとんどの議会は、政策立案能力は低く監視機能も弱い傾向であることが明らかにされました。



牧瀬稔 講師

議員提案 政策条例の実現

議会改革の最終的な目的は、「住民の福祉の増進」という観点から考えることであり、そのなかで、議会としてできることは「議員提案政策条例」の実現であると結ばれました。

他自治体の事例を参照するのではなく、幸田町の地域性や空間的な特徴などを考えた取り組みをすることだという提起をうけ、議会の責任の重大さを感じます。予定時間を超過する熱の入った研修となりました。

中間報告

議会改革に向けて

議会運営委員会

平成23年6月の議会運営委員会において、議会改革をどう進めていくかと議論を開始した。

平成24年3月から議会議録を町ホームページに掲載、町議会委員会条例を一部改正し、6月から委員会の会議を公開してきた。

各議員はそれぞれ、島根県松江市、兵庫県播磨町、鹿児島県いちき串木野市など視察研究。

県内の日進市、知立市の議会報告会に参加し調査。開かれた議会にするにはどういう形が良いか、何ができるかなど、委員会でも数回にわたり議論・調査を重ねてきた。

牧瀬稔氏による議員研修会も開催した。

「議会報告会」の開催を決定

議会に関する基本的な事項を定める議会基本条例の制定は、「条例ありきではなく、議会の活動状況など住民に知ってもらうことが先」との意見から時期尚早とした。

平成25年2月19日、議員が地域に向き、定例会で審議された内容などを直接住民に説明する「議会報告会」を開催することを決定した。

今後、開催時期や報告内容など詳細は決めていく。



知立市の議会報告会